

4 週間、新城市民病院で地域医療研修の機会を頂き、誠にありがとうございました。

「新城市民病院で医師の大量引き上げがあり、窮地に追い込まれている」私は新城市のお隣、豊橋市で育ちましたが、10 年以上前にこのニュースを耳にしたことを記憶しています。その当時は地域の方々にとりどれほど深刻な問題であるか、認識することができませんでした。地域研修を迎えるにあたり、豊橋市からおよそ 20km の身近な病院でこうした出来事があったことを思い出しました。研修医として主に救急外来でファーストタッチを行う現在、一刻も早い処置を要する症例を経験することがあります。そのような場合はどのように対応されているのか、自分の勤める病院にはない総合診療科ではどのような医療が行われているのか、また地域医療はどのようなものか興味を持って研修に臨みました。

総合診療科の研修では、初診で外来や救急を受診された患者様をファーストタッチする機会を数多くいただきました。病歴や身体所見をしっかりと聴取し、そこから考えられる病態や疾患を挙げ、必要な検査を行うという過程が一貫して重視されておりました。本来あるべき診療の過程ではありますが、これまであまり実践できていなかったことを痛感し、自分の診療を見つめ直すよい機会となりました。総合診療科を受診された方は全例、当日夕方のカンファレンスで総合診療科の医師全員と共に振り返りをを行います。自らの診断プロセスや治療方針が適切であったかを検討し、上級医からフィードバックを頂けるといふこれまでにない環境で大変刺激的でした。毎朝開催される勉強会や EBM 勉強会で常に新しい知識を習得し、一丸となって最善の医療を実践しようという先生方の強い熱意を感じました。

特に印象に残ったのが助産所の訪問でした。新城市内には分娩可能な医療機関がなく、また県内ではなく静岡県聖隷三方原病院と連携してお産を行っていることを知りました。市内でのお産が困難な厳しい現状を目の当たりにしましたが、助産師さんを中心に出産前の妊婦さん、出産後のお母さんと誕生した赤ちゃんへ充実したサポート体制が提供されていることを知りました。こうしたサポート体制のため、新城市のみならず東栄町など北部からも利用者が来られるとのことでした。また、訪問看護・訪問リハビリへの同行、老人保健施設や作手診療所を訪問する機会をいただき、入院中の患者様の方針を多職種合同で検討するカンファレンスにも参加いたしました。これまでの研修を振り返ると、疾患をいかに治療するかの「診療」が中心となり、その後の生活まで目を向けることが少なかったように思います。新しく誕生する赤ちゃんからご高齢の方まで、この地域での生活にふさわしい環境を考え、必要なサービスを可能な限り提供する体制を経験し、「医療」を俯瞰するよいきっかけとなりました。

私は今後内科を専攻したいと考えております。専門科のみならず、内科全般の幅広い知識や経験、さらには患者様や支えるご家族にとって最適な生活を検討する広い視野が必要と考えております。4 週間の研修を通じ、新城市民病院はそうした目標を達成するのにふさわしい環境であると感じました。来年度以降も数ヶ月の地域医療研修がありますが、熱意ある先生方やスタッフの皆様のもとでまた研修できれば嬉しく思います。

最後になりましたが、4 週間丁寧なご指導をいただいた皆様に御礼申し上げます。